

教育民生常任委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和6年4月30日(火) 第3委員会室
2. 出 席 委 員 五島誠委員長 前田智永副委員長 赤木忠徳 横路政之 宇江田豊彦 藤木百合子
3. 欠 席 委 員 なし
4. 事務局職員 山根啓荘議会事務局長 橋本和憲議会事務局主任主事
5. 参 考 人 福田浩司庄原市庄原自治振興区長 滝口博章庄原市庄原自治振興区事務局長
松浦誠東三区教育推進協議会会長 宮田利恵永末小学校PTA前会長
6. 説 明 員
7. 傍 聴 者 1名(議員 松本みのり)
8. 会議に付した事件
1 教育条件整備について

午後1時59分 開 議

○五島誠委員長 ただいまより教育民生常任委員会を開会いたします。ただいまの出席委員は6名です。よって、直ちに会議を開きます。本日の会議において、傍聴、写真撮影、録音、録画を許可しています。

1 教育条件整備について

○五島誠委員長 本日の協議事項は1点、教育条件整備についてということで、先般、要望書を提出された庄原自治振興区と東三区教育推進協議会の方々に参考人招致という形でお越しをしてもらって質問をしたいと思います。よろしくお願いします。それでは、暫時休憩といたします。

午後2時00分 休 憩

午後2時1分 再 開

○五島誠委員長 休憩前に引き続いて会議を再開いたします。本日は参考人として4名の方がお忙しい中お越しくださっています。きょうはよろしくお願いいたします。先に冒頭でそれぞれ自己紹介をさせてもらって会議を進めたいと思います。私は委員長の五島です。よろしくお願いいたします。

○前田智永副委員長 副委員長の前田です。よろしくお願いいたします。

○横路政之委員 委員の横路です。よろしくお願いいたします。

○藤木百合子委員 委員の藤木です。よろしくお願いいたします。

○宇江田豊彦委員 委員の宇江田です。よろしくお願いいたします。

○赤木忠徳委員 委員の赤木です。よろしくお願いいたします。

○福田浩司庄原市庄原自治振興区長 庄原自治振興区の区長の福田です。よろしくお願いいたします。
○松浦誠東三区教育推進協議会会長 東三区教育推進協議会の会長の松浦です。よろしくお願いいたします。

○宮田利恵永末小学校PTA前会長 永末小学校の前年度のPTA会長の宮田利恵です。よろしくお願いいたします。

○滝口博章庄原市庄原自治振興区事務局長 庄原自治振興区の手務局長の滝口です。よろしくお願いいたします。

○五島誠委員長 ここからは座ったままで結構なので、挙手の上発言してください。初めに私から本日の趣旨について少し触れさせてもらって、その後で参考人の方々に御意見を伺いたいと思います。よろしくお願いいたします。先般、地域の教育条件の改善についての要望書を提出して下さって、また、平素より地域の子供たちの教育環境等についてそれぞれ御尽力賜っていることにまず御礼申し上げます。私ども教育民生常任委員会の中でも、教育条件整備、少子化対策の子育て支援について、昨年度より新しい委員会の体制となり、さまざまな議論を進めているところです。そうした中で、永末小学校区の教育環境については、本委員会でも従前より懸念していましたし、それぞれの委員が議員の立場で、議会あるいは委員会ですさまざまな意見、提言なども行ったところです。本委員会でも、永末保育所、永末小学校、放課後児童クラブの現地視察等を行ったり、担当課ともいろいろとやりとりをしてきました。特に今の子供たちが置かれている状況を鑑みたときにスピード感を持って対応していかなければならない部分もあるということで、これからまた本委員会でも議論を続けていきます。最初に1つ申し上げておきますが、永末保育所は今、僻地保育所という取り扱いになっており、昨年度も本年度も子供がゼロです。それから、放課後児童クラブについては、児童の数に対して施設の狭さといったこともあり、今は緊急避難的に永末保育所を使ってもらっている状況です。そうしたことを鑑みたときに、まずは永末保育所を廃止して、そちらにしっかりとした形の放課後児童クラブを持っていけばどうか。そして、現在放課後児童クラブとして整備されている建物及び敷地ですが、それらを永末小学校に移管するといったことも考えなければならないということで、そうしたことも含めて現在、担当課とやりとりをしているところです。先般提出をされた要望書を読んで私どももいろいろと検討しましたが、本日は改めてこの要望書を出された思い、それから、これからどうしていけばいいのかをしっかりと議論したいと思います。きょうは本当にお忙しい中、御足労くださりましてありがとうございます。早速ですが、まずはこの要望書について、参考人の方から改めて御説明と、思いをそれぞれ聞かせてもらえればと思います。福田区長からよろしくお願いいたします。

○福田浩司庄原市庄原自治振興区長 具体的な要望事項はお出ししている書類のとおりです。1番目として、プレハブ教室の増設を要望します。2番目として、放課後児童クラブの充実について、非常に狭い状態なのでスペースを広くするよう要望します。3番目として、保育所の充実について、地域では共働きの世帯の増加と核家族化によって非常にニーズに合わなくなっています。未満児はだめだということで、当地域では小学校と同様に保育を希望する世帯が増加しており、近隣の地域との整合性を図り、一般保育所の位置づけされた保育所の充実を要望します。4番目として、現在、永末小学校の体育館は庄原市の指定避難所となっていますが、随分と老朽化しており、避難道具を置く施設もないため、とても避難できる状況ではないと判断しています。したがって、その整備を要望します。

○五島誠委員長 続いて、松浦会長お願いいたします。

○松浦誠東三区教育推進協議会会長 私たちがこういう問題に取り組み始めたのは令和2年だったと思います。まだ永末保育所に通う子供がいましたが、来年卒園したらもういなくなるという話があって、地域のみんなが大事にしている保育所がなくなるのは困るということで、児童福祉課にどういう状況なのか聞かせてほしいという話をして、やりとりをしました。そのときには自治振興区の区長にも話を聞いてもらいました。最終的には1人でもいいから残ってくれば存続させるという話でしたが、今度は、残る保護者が、1人で全部いろいろな行事をするのはしんどいということで出て行ってしまいました。それで、令和3年だったと思いますが、永末保育所に通う子供がゼロになって休所となりました。そのことについて、地域の皆さんにアンケートをとりました。400戸くらいあって200戸くらいは集まったと思いますが、回答者の80%は保育所を残してほしいと、小学校と保育所は地域の大事な教育条件だという言い方でした。ただし、実はその話には裏があって、回答者のほとんどが保育の対象となる子供がいない方でした。つまり、自分や自分の子供が通った保育所を懐かしんで残してほしいと。実際に保育の対象となる子供がいる保護者はどうなのかといえば、まずほとんどの方が回答しません。行かせる気はさらさらないと。回答してくださった何件かの世帯も行かせる気はないとはっきりと書いておられました。それはなぜかという、先ほど区長が言ったように、上の子と下の子を別々の所に行かせるわけにいかないから、同じ所に行かせたいし、延長保育もしてもらわないと共稼ぎの家庭は困るわけです。だから、そういう理由でよそに行くと。いつもこのことについて児童福祉課と話をしますが、児童福祉課の捉え方としては、仕事場の近くの所に通わされているという言い方をされます。そうではありません。仕事場の近くの所に通わせたいという人は誰もいません。都合のいい所というのはそういう意味ではありません。中には、わざわざ子供を庄原保育所や北保育所まで連れて行って通わせている人もいます。その人にはっきりと聞いたわけではありませんが、看護師の方なので、新型コロナウイルス感染症を避けられたのではないかと思います。そういう環境の中で、今までの歴史的には東三区で永末保育所か高保育所に通う子供がたくさんいましたが、高保育所に通う子供もなかなかふえません。いつも10人弱くらいです。永末保育所に通う子供がいなくなったので高保育所に通えばまだいいのですが、それもあります。だから、ことしの永末小学校の児童16名は、幼稚園も含めて6つくらいの保育所から集まっている状況です。恐らく、教育問題に詳しい皆さんは、幼児のときに連帯意識が育つかどうかで、小学校に入ってから知らない環境の中で子供がどのような心境になるのかはおわかりだと思います。最近の永末小学校の1年生、2年生が難しいのは、最初は全然知らない子ばかりだからです。これは苦労するだろうと思います。また、指導する先生も、地域のことがよくわかっている方ならまだしも、わからない方ばかりが永末小学校に来られます。そうすると、コロナ禍のこともありましたし、子供や保護者を集団化させていい方向に向かわせるのはなかなか難しいだろうなと思います。そういった中で、永末保育所が休所して2年になります。今度は放課後児童クラブのことで、永末小学校の子供たちがふえるのはいいことですが、放課後児童クラブは保育所と同じく児童福祉課の担当なので、これはどういうことかと。今、60人から80人の希望者がいるけれども、とてもではないが入れないと。最初は校舎に分かれて実施されました。課長に、分かれたら目が届かないので難しいですよと聞くと、トランシーバーで連絡を取り合っていますと。後から聞くと、うそでした。建物の中でトランシーバーが通用するわけがありません。しかも、支援員が1部屋に1人はいなければならないという規則があるので、誰かが便所に行きたいと言えば、支援員はその子供に付いて外に出るのだと。残っている子供は野放しになります。

そこでいじめを受けた子供もおられるという話も聞いて、これは何とかしなければいけないという話をして、何とかひねり出されたのが休所中の永末保育所の園舎を使わせてほしいという話でした。地域の中で、これをきっかけに永末保育所を廃止されるのも困るねという話をしていたら、緊急避難的という意味で、きょねんの4月から放課後児童クラブになりました。今度は始める上で説明をしに来られました。コロナ禍だったので、1列の座卓に3人ずつ座って40数人が利用すると。しかも1部屋だけ。なぜ隣の部屋は使わないのかと聞くと、とりあえず1部屋しか使う予定がないという感じで、もう少し自由度を広げられないのかと言っていたら保護者からさらに苦情が出ました。便所が幼児用の小さいもので、高学年の子供が座ってしろというのは難しい、直すことはできないのか。それから、幼児の場合は、便所に行くときに男女別にすると目が届きかないのでカーテンだけで見えるようにしています。それでは小学校6年生までの放課後児童クラブという体制では使用できない。これも何とかしてもらわないといけない。駐車場についても、学校の運動場の中に車を入れてはいけませんと言われるので雨の中でも校舎のほうに置いて、100メートル以上先の放課後児童クラブの場所まで歩いて行って帰ってこないといけない。それだけでも夕方の忙しい時間に苦勞するという話もあったりして、きょねんその話をして、ことしで2年目を迎えています。少しでもよくなってくればいいなと思います。正直なところ、私も今どのような状況になっているのかよく見ていません。小学校についてはきょねん改修工事を行って便所はふやした、きれいにしたという話は聞きましたが、放課後児童クラブはどうなっているのか。詳しい保護者がおられるので聞いてみたいなと思っています。

○五島誠委員長 続いて、宮田前会長お願いします。

○宮田利恵永末小学校PTA前会長 まず、学校のほうは、教室自体が狭いとかそういうことではありません。教室は20人以下なのでそれなりに過ごしやすい環境にもあると思います。学校に入ると、例えば、図書室などの役員全体で集まって話せる場所がありません。図書室は、まあまあ狭いです。10人くらいがやっと座れるような机が置いてあるだけです。図工室は、人数がふえているということで支援学級もふえて、1つの部屋を半分に区切って3クラスくらいつくっています。パソコンやタブレットなどを置くパソコン教室は、もう教室ではなく物置です。パソコン、タブレットが無理やり置かれている状況です。小学校1年生のときにある給食試食会のようなことができるスペース、保護者が一緒に入って食事ができるような、よくランチルームなどがあったりすると思いますが、そういう別のスペースもないし、玄関についても、玄関から靴を脱ぐ場所までの靴箱が伸びて、扉が2つあったら行き来ができない状態です。これ以上ふえたらどうなるのかなという感じです。放課後児童クラブについては、改修ができないと使いやすくないのなら早くしてあげたいなということが一番です。スピード感ですよね。どうしてもそれが原因で行きたくないという子供が出てくるので、トイレなどがあだから行きたくないということになれば、早いうちから鍵っ子みたいな感じで放課後児童クラブに行かない子供がふえて、美湯ハイツは子供が多いので危ないです。本当は行かせたいけれども、子供がすごく嫌がるので、大きな休みは心配なので預けるけれども、帰らせているという人も結構多いです。平日は16時ごろに帰って来て、子供なので親が帰って来るまで外遊びをする危険もあります。自転車に乗ったり。口で言っても、そうは言ってもみんなが遊んでいたら一緒に遊ぶためにどうしても出てきます。きょねんは、冬は車をとめて永末保育所まで行くまでの道が真っ暗で危ないということで、放課後児童クラブの支援員がセンサーライトのようなものを取り付けられたみたいですが、そういうことは、なってみて初めてわかります。でもそれしか知らないの、最初はみんな、暗

いよね、危ないよねと言いながら通ります。それを耳にした人がやっと伝えたというような感じで、
過ごしやすいという感じとも違うのかな。永末保育所はトイレの問題が一番保育所は大きいのかなと。
最初に言われたように、永末保育所が改修されて、放課後児童クラブの建物が小学校で活用できるよう
になれば違ったりするのかと。きょう初めてそういう意見を聞いたので、使えたらなど。

○松浦誠東三区教育推進協議会会長 以前から使用している放課後児童クラブの建物の便所も永末保育
所でされている放課後児童クラブの便所として使われています。人数が多いので。大きい子供にはあ
そこに行って下さいと言って使わせているので、あの建物を学校として生かしてもらうと学校は喜
ぶけれども、放課後児童クラブとしては困ります。高学年が行ける便所がないので。学校に行かせて
くれればいいのに、妙に学校は来てはいけないという言い方をするので。

○宮田利恵永末小学校PTA前会長 決まりがあると言われていました。だから、家庭科室で放課後児
童クラブをしたときには、トイレのために放課後児童クラブまで戻らないといけない。学校のトイレ
は使ってはいけないので建物から出て放課後児童クラブまでトイレをしに行かなければならず、支援
員がついて行くので家庭科室に支援員がいなくなってトラブルがあったという話は聞きました。

○五島誠委員長 ありがとうございます。それでは、この後は委員それぞれから質問をさせてもらっ
て進めていきます。委員の皆さんからの発言を求めます。赤木委員。

○赤木忠徳委員 小学校6年間の間に毎年1学年上がります。先ほど委員長が言ったように、その子供
たちの環境のことについて、我々がスピード感を持って動かないと卒業してしまうのではないかと
いうことで、我々も視察を行ったり、いろいろと調査しました。ただ、問題がたくさんあって、敷地が
狭いのでどこから手をつければいいのかを考えていろいろ対策を練ったり、教育委員会に対して、合
併予定の学校だから新たな設備をしないのですかと、それでは子供たちがかわいそうではないかと言
ったところ、それは頭に入れていませんと、要望があれば考えるが、場所の選定が難しいのですと言
われました。それからもう1つ、僻地保育所と一般の保育所は規定が違います。僻地保育所は県知事
の認可で、一般の保育所は庄原市です。そういった問題で、僻地保育所をすぐに保育所にしなさいと
言ってもハードルが高過ぎてなかなか難しいということで今、緊急避難的に永末保育所を放課後児童
クラブに利用しますよと。トイレを直すにしても、永末保育所が休所しているので目的外利用になっ
ています。それをどうすればいいのか、我々は本当に悩みながら話をし、皆さんの御意見を聞いた
上で少しずつでも前に進めばいいなということで、きょう来てもらいました。ですから、保育所のこ
とはまた別として、永末保育所自体を廃止すれば、放課後児童クラブの予算を付けたり、場所的には
ある程度のものができますが、永末保育所をなくすことに対して地域の皆さんはどのような考えを持
っておられますか。

○五島誠委員長 松浦会長。

○松浦誠東三区教育推進協議会会長 東三区教育推進協議会は、5つの自治会長を中心に、PTAの皆
さんにも入ってもらって組織ができています。その中での議論で、今後の方向として、今言われたよ
うに永末保育所をそのまま残すのはもう無理だと。保育所は諦めて、その代わりに放課後児童クラブ
をきちんと充実させる方向にしてほしいという話で結論に至っています。そして、その文書につい
ても、地域の皆さんに、こういう要望書を出しましたよと全戸に配って御了解をお願いしています。
なので、そのことについては東三区としてはもう整理がついていると思っていました。ところが宮田前
会長から聞いたのですが、教育委員会の課長と話をしたときに、その話はまだ完全に決まったもので

はないと、地域はオーケーしていないと言われましたと。誰がそんなことを言っているのか、勝手な想像で言っているのか、私は正直なところを聞いてみたいと思います。よくわかりません。要望書を提出したときに教育委員会の課長から、永末保育所についての合意がどうのこうのではなく、永末小学校が一番古いのではなく東小学校のほうが一年くらい古いとだけ言われました。これがそんなに障害となっているのならばそれを先に言ってくればいいのにと思いました。まだ私はそのことを正式に聞いていないので伝え聞いたのですが、困った話だなと思います。

○五島誠委員長 他にありますか。横路委員。

○横路政之委員 今の話の中で、地元では永末保育所の廃止はもうやむを得ないということで同意をされたのだと。この要望書をよく読むと、3項目めに、この制度を変えないと入所させることができないと考えているという記載がありますが、永末保育所はもういいということですか。永末保育所はなくなってもいいという感じなのか、この制度を変えてほしいという思いなのか、きょうはそのことをはっきりと、地域の方は永末保育所もなくしてもいいのかどうかをきちんと決められているのかお聞きます。

○五島誠委員長 松浦会長。

○松浦誠東三区教育推進協議会会長 僻地保育所はもともと、永末もですが実留など市内に幾つもありました。だから、僻地保育所への根本的な理解は、おじいちゃんおばあちゃん、お父さんたちは農業をしていて、子供を迎えに行けると。だから、15時までの僻地保育所がほとんどでした。15時で帰るので延長保育はあるわけがない。ところが、よその保育所、例えば、実留と板橋の保育所が一緒になって実留保育所がなくなったように、統合などでどんどんなくなっていきました。これは児童福祉課も言っていました。もう県内の僻地保育所は1カ所、永末保育所だけです。何でそんなものにいつまでも固執しないといけないのか。東三区には400戸ありますが、そのうち200戸は美湯ハイツです。ほとんどが核家族です。若いお父さんお母さんと子供。あとの200戸はおじいちゃんおばあちゃんだけで住んでいる家がほとんどなので、当初の僻地保育所の狙いから言っても全く外れているのです。勤労者を保護するための保育所が特に必要な所にはないのですよ。先ほど横路議員が言われた部分についてはよくわかりませんが、とにかく、僻地保育所の制度のままではとてもではないが永末保育所は使えません。みんなが延長保育をしてくれと言う中で、延長保育ができない、17時で帰ってくださいというようなことでは困る。誰も家にいないので。だから、このような形では無理だと。児童福祉課に一般的な保育所に変更ができないかという話をしましたが、赤木議員が言われるように非常にハードルが高い。自校給食ができなくてはいけない。つまり、狭い保育所の裏にさらに給食室をつくれと。できるわけがない。むしろあっさりとなくなってくれたほうが今言ったように放課後児童クラブに転用できるのでいいのではないかと思います。それから、教育委員会は一生懸命、規定が違うと、放課後児童クラブと学校は違うから学校の施設を使ってはいけないという言い方をされますが、実は、児童福祉課から東三区に放課後児童クラブとして休所中の永末保育所を使わせてほしいという話が来たときに、最後のほうでわざわざ言われました。市の建物は、公用に使用するのであれば目的外でも使用できるということが条文に入っている、だから、目的外であっても使用できるのですと言われました。裏を返せば、学校はここを使ってはいけない、あそこを使ってはいけないと言いうけれども、放課後児童クラブを利用する子供がこんなに多いのだから、15時以降は1年生と2年の教室を全部放課後児童クラブにすればいい、目的外でも構わないという条件があるはずだと言いましたが、児童福祉課

長なのでそのことについては言えませんが、そうあるべきです。必ずしも放課後児童クラブは教育委員会と別物ではありません。府中市や三次市は教育委員会の中に放課後児童クラブがあります。どうぞ調べてみてください。そうしないといろいろな所が困るのです。同じ親から預かった子供が、何時から何時までは同じ敷地内なのに、私は関係ありませんというような言い方を本当にしてもいいのだろうか。私もそういう職についていたので、同じ敷地内だけれども私たちは関係ないというのはあり得ない、目の前でけがをしても関係ないと言えるわけがないという話を職員にしていました。それは考えるべきです。そういうことに固執してはいけません。私たちだってよその家の子供でも大事にするのは当たり前なので、小学校の先生や保育所の先生が同じ敷地の中の同じ地域の子供たちを、私たちは時間が違うとか決まりで物事を考えるようではいけないと思います。私はそのことを特に言いたい。

○五島誠委員長 宮田前会長。

○宮田利恵永末小学校PTA前会長 本当は一般の保育所ならばあったほうがいいです。そうしてもらえればあったほうがいい。なぜあったほうがいいのかというと、小学校の保護者はいろいろな所から来ているので1年生のときの保護者は親睦がないのです。普通は保育所からずっと上がってきているからずっと仲がいい、みんな顔のわかる保護者で1年生になっている。保護者同士の親睦が少し浅いです。どうしても6カ所くらいから集まってきて、1学期の間で1回か2回しか会わないです。参観日のときに少し顔を見るとかその程度です。本当は保育所があつて小学校に上がって、みんな子供の名前が全員わかるような感じが一番の理想だと思います。でもそれはもう無理だと言われた。昔永末保育所に通われていた保護者も普通の保育所にしてほしいということで何度も動かされたと聞いていますが、給食室の問題で断念されていて、それができないのならば、今の子供たちが狭い所で放課後児童クラブをするよりも永末保育所がいいのならばそれでいいですかというアンケートをとって、それで保護者の皆さんがいいですということで今回、緊急避難的に4月の初めから。教育委員会の方は役員会のときに毎回、合併のこと、統合があるのかなのかということの説明しに来られますが、今年度も延期ですと。そういう話があったときに放課後児童クラブのことも話しました。2年前に、緊急避難的に動いてくださいと。でも、それから、このように動いていきますとかこのように進めていこうと思っていますとかそういう途中連絡は一度もありません。教育委員会の方は地域のオーケーが出ていないというような感じで言われていて、私たちはオーケーが出ているから要望しているのだという話はしましたが、結局、2年前に言ったときから何か変わったのかな、何か進めてもらえているのかなと思います。

○五島誠委員長 滝口事務局長。

○滝口博章庄原市庄原自治振興区事務局長 僻地保育所の在り方と保育所の充実ということで、今回、保育所の充実を項目としてあげている根底には、僻地保育所が今の保護者のニーズに全く合わない、15時で終わり、延長保育もない、未満児も受け入れられない。ニーズが全く満たされないの、もう1つ大きく考えて地域を広げて、永末と東三区に美湯ハイツも含めてもう少し広いエリアで地域の中に保育所を充実させてほしいというのが根底にあります。現実的に僻地保育所ではもう無理だということを根底に保育所の充実を要望しているので、そこを考えてもらいたいなど。僻地保育所でも残してほしいという方も1人か2人はおられるかもしれませんが、全体的には、もうほとんどニーズに合わないのに入る要望がないのが現実です。そういうことが根底にあつて今回の要望書を提出したということがあります。

○五島誠委員長 他にありますか。宇江田委員。

○宇江田豊彦委員 今の御意見を聞いて、保育所について、僻地保育所は現在の価値観にあっていない、できるだけさまざまな課題を早期に解決してほしいということだと思います。スピードを上げてさまざまなことを解決することになれば、全てがうまくいくということにはなかなかありません。だから、本委員会でも何回も議論してきましたが、僻地保育所を一般の保育所にするのはかなり困難なので、まずそれをクリアして具体的な取り組みを進めるという議論をしていかなければならないだろうというのが本委員会の委員のおおむねの意見です。今後もっと議論を深めていかなければなりません。私がもう1つ非常に気にかかっているのは適正配置の問題です。永末小学校は、当面は適正配置計画の基準に達することはありません。それで、本委員会ではきよねんの8月18日に教育委員会を招聘して議論いたしました。そのときには、そういう状況にはないので全く手をつけていません。では将来はどうするのか、地域の皆さんは不安ですよ。永末小学校は何年このままなのか、今の状況のまま10年先まで辛抱しろと言われるのか。それでは非常に不安だから、この計画をどうするのか、もう1回見直しをきちんとかけるのか、そういう方向性を出すのかと聞いたら、今の計画があるのだからその計画のまま進めていきますと、状況が変わったり、地域の皆さんから要望あれば具体的な検討に入りますという言い方をされました。ですから、適正配置の計画は現在もまだ残っています。住民基本台帳上では2029年には児童が67人くらいまで減るという見通しを教育委員会は持っていますが、適正配置についての御意見があればそのことも少し聞かせてください。

○五島誠委員長 松浦会長。

○松浦誠東三区教育推進協議会会長 手元に資料がありませんが、平成29年だったか、適正配置計画が出されたときに、永末小学校は後5、6年で37人が40人くらいになると、少しふえるけれども、これではもう完全複式になるので適正配置の対象校としますという話でした。それ以後、ふえて60人になったので、教育長がPTAの総会に来て適正配置の説明をするという話だったのですが、予告なしに突如延期しますと言われました。正直に言って、保護者はびっくりしました。今後どのようにするつもりなのか説明してくれるのかと思ったら、延期しますと。人数が多くなったから今度は延期すると言われるのならば、もう3、4年すれば統合するのだからとそれまで何もせずに我慢していたのにどうするのかと言うと、今は計画がないと。それからもう4年です。合わせると7、8年です。永末保育所は基本的にはほったらかしですが、部分改修はありましたが、将来を担う大事な子供たちが100人もいるのにこんなことでいいのでしょうか。どうもその辺が。宇江田議員が言われるように、確かに急いで合意がないまま進めて後でいろいろな問題が起きて困るということはわかりますが、子供の保護者は、私たちは正直に言ってもう子供がそばにいませんが、同じ庄原自治振興区の中で、一方は100人以上入られるような放課後児童クラブの大きな建物があって、こちらはたかが60人が入れない、40人くらいしか入れない放課後児童クラブの建物で窮々としている。校舎だって、図工室はありません。先ほど宮田前会長が言われたように、図工室をいろいろな教室にしまわって図工室自体がない。要望書を提出するときに言われましたが、最初に直すのは東小学校だと、永末東小学校より1年くらい古いからだ。忘れないでください、永末小学校ができたときには、3学級複式で特別学級も図工室、音楽室、家庭科室が3学級もあるような、1階で全部物事が済むような小さな学校でした。今の本校舎だけです。一方で、東小学校は、広いフルスペックの校舎が大きな所に1年前にできた。条件がすごく違います。永末小学校は後から後から増築しましたがけれども、それでもまたさらに

足りない状況になっているのだから早くしてもらわないと、庄原自治振興区の中の庄原小学校と同じ子供たちなのに、対応があまりにも違うではないかということが大きいです。小さい学校のよさもよくわかっていますが、少なくとも図工室、音楽室、家庭科室、広い図書室があるというような、子供たちにとって大事な教育環境をそろえてあげてほしい。その解決策としてはプレハブ教室をふやすくらいしかないのではないかと思いますし、放課後児童クラブを充実させるために新たに建物をつくるのは難しいと思うので、もう永末保育所を廃止してそこを改修する。そうしてもらわないと、何年待っても無理だろうと。僻地保育所を一般の保育所に変えることは無理だろうと思います。むしろ廃止するほうが簡単な話です。県に廃止の手続きをすればいいのですから。よそもいっぱい廃止して統合したのでですから当たり前ではないですか。これをまた市の保育所にしようと思ったら大変な費用と苦勞をかけないといけません。速やかに廃止してもらえれば一歩でも前進するのではないかと思います。

○五島誠委員長 宇江田委員。

○宇江田豊彦委員 先ほど言われたように、適正配置計画が出されたのは2017年だったと思います。7年間抜本的な改修はされていないということで、地元の皆さんからすれば非常に不公平な扱いを受けているのではないかと感じられていると思います。トイレや水道の改修は一定程度されてきましたが、教室の狭さや個数などの問題については十分な対応がされていません。さらには、将来にわたってどうなるのか、展望が示されていないということが一番大きい不安材料だと思います。だから、極端に言えば、適正配置は必ずしますと、何年後にはするので、少し手は入れますが我慢してくださいと言うのなら言う。10年以上はこの状態で置いておく、抜本的な改修も含めて、適正配置を行う方向で進めますという、方向性を教育委員会に求められているのだと私は理解しています。そういう理解でいいのですか。地元としての思いは。

○五島誠委員長 松浦課長。

○松浦誠東三区教育推進協議会会長 正直言ってそういう話は一切ありません。宮田前会長はことしもありましたと言われますが、前は教育委員会の説明なんてありませんでした。適正配置計画が全校に提示される2年前くらい、宮田さんがPTA会長になられたときくらいです。

○宮田利恵永末小学校PTA前会長 私が参加したきょねんの役員会でも教育委員会が来られていました。当初は全保護者を集めて説明をしますという話でしたが、人数がふえ続けたことで延期になってからは、PTAの役員会に来られて、今年度の人数はこうなのだという説明をされていて、いつも何年後には減少傾向ですと。減少傾向なのは永末小学校に限ったことではないと思います。あたかも永末小学校だけが減るような言い方をされますが、全体的に少子化で、どの学校も減っているはずで、その中では多いかもしれないし、そもそもそこを比べているわけではないのだけれども、当初の予測以上にふえているからこうなっている。だから、何年後かのこともどうなるかは未定の話なので、今を充実させることが一番大事なのかなと思います。

○五島誠委員長 松浦会長。

○松浦誠東三区教育推進協議会会長 2017年に教育長が来て説明をされたことは確かに聞いていますが、私はそれ以外の説明は聞いていません。宮田前会長はきょねんから聞いているとの話ですが、それがどこでそうになっているのか。適正配置計画の基本方針の中には、地域や保護者の要望を聞いて進めると書かれていますが、教育委員会から、地域の皆さんに説明をするので集まってくださいという話は聞いたことがありません。いつも私たちが児童福祉課に行ったり、あるいは要望書を提出するの

であって、隠れたところでこそそと 10 名くらいの役員に言って全部済んだような言い方をされるのは承服できません。ぜひとも皆さんからも、適正配置計画に書かれていることどうなっているのか、地域の人はどう言ったのかと、聞いていません、言っていないと言われれば、きちんとしなさいと言ってもらわないといけないかなと。保護者の皆さんは、毎年役員が変わるのでどうしてもわからないのです。恐らく、校長先生から何日にしますという情報があって行きます。いいのかなど、返答をしたのかどうかも聞いていません。もし私がPTA会長なら、地域の皆さんも呼びます。その日は都合が悪いから役員会以外の人に集会を開いてくれと言いますが、弱い所だけに話をしているのです。このやり方はあまりよくないと思います。

○五島誠委員長 滝口事務局長。

○滝口博章庄原市庄原自治振興区事務局長 東三区の場合は、地域と地域のPTAや学校も含めて教育推進協議会という組織を一緒につくっておられますが、そこに提案があったという話は私も聞いていません。だから話は進んでいません。子供みえるので当面は延期するという話くらいしか聞いていないと思います。そういう状況の中で、やめられた校長先生と話をする中で、どうにかしてくださいよと、教室が足りないのですと泣き泣き言われるのです。教育委員会に話が行っているかといえば、多分行っていないと思います。校長みずから本当に切実に言われました。本当にどうにかしなければならぬということと地域が動き出したのが現実だと思います。切実な問題です。庄原小学校と比べてはいけませんが、前に議員が言われたと思いますが、教育環境の格差はあると思います。ですから、今の子供たちに対して、先では子供たちが少なくなるので我慢してくださいという言い方は絶対に通用しないというのが本音だと思います。

○五島誠委員長 他にありますか。藤木委員。

○藤木百合子委員 きょういろいろと話を聞きましたが、教育委員会と話をする中で、教育委員会のほうには危機感が全く伝わっていないですね。学校の先生から特に要望などは聞いてないし、どこが問題なのかと、水道も手洗いもう直したということで、もうそれ以上は別段問題ないのではないのかと捉えているような気がしてなりません。皆さんから要望書が出されていますが、もっと激しく要望をされてもいいのではないかなと。もっと意思表示をしないと、話をしても、特に何も聞いていませんという感じの返答しかないのです。永末小学校は大変ですよと言っても伝わっていない感じを受けます。この前、西城小学校を見学して、ものすごく立派な学校でした。あれを見て愕然としました。小学校の歴史的なことがいろいろあるとは思いますが、皆さんは本当に我慢強いなと思います。

○五島誠委員長 藤木委員、参考人招致なので質問をお願いします。

○藤木百合子委員 永末保育所をなくして放課後児童クラブとして充実させてほしいということはよくわかりました。学校に関しては、図書室が狭いとか図工教室が足りないということで要望をされていることもきょう話を聞いてわかりましたが、ほかにあれば聞かせてください。

○五島誠委員長 宮田前会長。

○宮田利恵永末小学校PTA前会長 逆に言えば、ほかを知らないということが一番だと思います。私は山内小学校出身ですが、今の校舎ができたときに1週間だけ通いました。階段にスロープがありますが、当時を思い返すと同級生に歩けない子がいて、多分そのこともあって階段にスロープがあるのかなと思います。その子は、お母さんが抱きかかえたり、自分で階段を歩いたりしていました。教室の前に広いスペースがあって、展示スペースにしたり、子供の作品を飾ったり、2学年くらいが集ま

ったりしていました。そう考えると、何十年前の学校を思い出してみても小さい。小さいし、このスペースで何ができるのかなと。天気の日には子供たちが外に出て広々と遊ぶスペースはありますが、体育館は曜日で遊べる学年が決まっています。全員が行くと狭くて遊べないので、きょうは何年生と何年生が体育館で遊べますという状態です。逆に雨の日は学年しか遊べません。外に出られないので。そういう意味で、子供たちは何が一番ほしいのかなと思います。でも、子供たちはそれしか知らないなので、多分答えられないと思います。他の小学校のことを知らないのではわからないと思います。だから、いろいろな学校を知っておられる皆さんに、これが必要だと、こういうものがあれば喜ぶという提案をもっとしてもらいたい。こちらから言うのではなく、こういうものが必要ではないのかと何か提案してもらいたいなと思います。

○五島誠委員長 滝口事務局長。

○滝口博章庄原市庄原自治振興区事務局長 付け足しではありませんが、ほかにも要望がありました。

庄原自治振興区が要望した避難所としての体育館の整備のことです。自主防災活動を地域と市役所で一緒に行っています。以前は、永末と東三区は美湯ハイツの山を越えて街中の庄原市民会館が指定避難所だったので分かれて非難していましたが、自治振興センターに避難所を置いて、永末小学校にも避難しましょうと。山が1つあるため地域が離れていて、雨が降ると来られないということからそういう話になっていましたが、屋根が古くなって傷んで雨が降るとものすごい音がするので、一晩中ここにいるのは絶対に誰も耐えられないと。今、全国的に災害の避難所のことが問題になっていますけれども、もう1つ、トイレの問題があります。大人のトイレはないので無理です。それから、避難の備品を置く所がありません。自治振興区からプレハブでもいいので建ててほしいと要望したこともありますが、プレハブを建てるのはいいいが学校には立てる場所がないと言われたので断念しました。もうこれは仕方ないということで、早めの避難が原則なので当面はここに来てもらうことにしていますが、なかなか来づらいです。特に東三区は土砂災害が厳しい地域なので、西城川もありますけれども、指定避難所に分かれて非難する体制をつくりましたが、それがもうできない状態になっています。ですから、先ほど言われたように、体育館は子供たちが遊んだりするのにも狭いので限界が来ているのだと思います。施設も古くなってかなり傷んでいます。物置もないし、トイレは全くありません。そのような状況で、環境的には多分かなり悪いと思います。そういうことで要望を出しました。

○五島誠委員長 他にありますか。赤木委員。

○赤木忠徳委員 先日、本委員会で学校を見させてもらいました。体育館に太鼓が置いてあります。それから、玄関から入って左側の特別教室の廊下にも太鼓を置いてあります。完全に消防法違反です。私はそういう点から教育委員会に話をしました。この状態ではいけないと。言ったところで、できるということで帰ってもらっても困りますが、プレハブの見積りをしたことがありますと言われました。先ほど言われたように、場所がないと言って逃げます。放課後児童クラブで使っている場所がありますよね。永末保育所ではなく。そこを場所として提供をしてもいいのかどうかも聞いておかないと進まないと思います。場所がないのですから。地域の皆さんはそこも残せと言われるのか。不登校の子供は保健室を利用したり、特別教室もいろいろと工夫をされて、学校の先生は本当によくされておられました。頭が下がる思いです。ただ、倉庫がないので廊下に物を置くというのはすぐに改善しないといけない状況なのは確認したので、その辺を1つずつ。まず、放課後児童クラブの場所を確保する。プレハブを確保するためにはどのような筋道をつくっていくのかということになれば、前に進もうと

思えば現在ある放課後児童クラブを利用してもいいのかお聞きします。

○五島誠委員長 松浦会長。

○松浦誠東三区教育推進協議会会長 要望書の中で、放課後児童クラブの充実をという話をしていますが、そのためには永末保育所を放課後児童クラブにして、反対に旧来の放課後児童クラブをほかのことに活用するほうが、環境条件がよくなると思います。もう1つは、場所がないという話が出ましたが、永末小学校のグラウンドは放課後児童クラブに迎えに行くのに疲れるくらいの広さがあります。見た目で判断して申し訳ないのですが山内小学校よりもグラウンドが広いのではないかと思います。そんなに広い必要はないだろうと。例えば、今置いてある雲梯を取って、プールのそばにある体育倉庫をもっと前に出して、その辺に教室をつくることできる。その辺に手洗い場が足りないという要望も出ていたので、同じ水回りだからそれをつくることもできる、場所はつくればいだろうと。昔は、人数が少なかったときに、フェンス沿いにタイヤを並べて、空間をつくるとか、随分と広いグラウンドを狭くする方向で考えていたのですが、広く使って、しかもいろいろなものをつくったほうがいだろうと。バックネットもあります。今は全然野球の練習をしていないのでバックネットがなくなってもいいと思います。そうすると、今の放課後児童クラブはバックネットの外にあるのですが、もう少し充実させて不足している倉庫をつくるとかいろいろなことができるのではないかと思います。

○五島誠委員長 他にありますか。よろしいですか。それでは、本日は大変お忙しい中、お時間をくださってありがとうございます。先ほどの皆さんからの御意見で、この要望書を出された前提として、永末保育所をなくすことについては地域の方々、PTAの方々のおおむねの合意がとれていることを確認することができました。また、本日は多岐にわたる切実な御意見があったと思います。本委員会としても、しっかりと活用させてもらって、早期にお返しできるような形で動いてまいりたいと考えているので、引き続き何とぞよろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。教育民生常任委員会を閉会いたします。

午後3時6分 散 会

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定により、ここに署名する。

教育民生常任委員会

委 員 長